

事業 No.	16					
事業名	エコライフチャレンジ					
連携する市町村名	全市町村					
根拠とする協定の規定	圏域内における低炭素社会の実現を目指すため、節電をはじめとする温室効果ガス削減につながる取組を推進する。					
事業概要	<p>地球温暖化対策の必要性を周知するため、温室効果ガス削減に向けた取組を呼びかけ、その成果に対して表彰することにより、省エネ行動の継続につなげる。</p> <p>取組の一つとして、電力使用量が増え始める晩秋の時期に、当該年の電力使用量と一年前同時期の電力使用量を比較し、その削減量を競うエコライフチャレンジを実施する。また、この取組を関係市町村内の小学校に通学する児童の家庭においても実施することにより、子どもたちの環境教育につなげる。</p>					
事業効果	<p>日常生活の中で、省エネにつながる行動への意識付けを促進し、温室効果ガスの削減を図ることができる。</p> <p>また、小学校に通学する児童の家庭においても実施することにより、子どもたちの環境に対する意識を高めることができる。</p>					
重要業績評価指標 ( K P I )	指 標		現 状 値 (調査時点)		目 標 値 (達成年度)	
	エコライフチャレンジ参加者数		1,317人 (2015(平成27)年度)		2,000人 (2021(平成33)年度)	
事業スケジュール	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	エコライフチャレンジの実施	→				
概算事業費 ( 千 円 )	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合 計
	850	650	650	650	650	3,450
(補助事業等の名称, 補助率等)						
役割分担及び費用負担の考え方	水戸市					
	エコライフチャレンジを実施するに当たり、中心的な役割を担う。また、事業に必要な費用について、応分の負担をする。					
近隣市町村						
各市町村におけるエコライフチャレンジを実施する。また、事業に必要な費用について、応分の負担をする。						

事業 No.	17					
事業名	環境啓発イベントへの相互参加					
連携する市町村名	全市町村					
根拠とする協定の規定	圏域内における低炭素社会の実現を目指すため、節電をはじめとする温室効果ガス削減につながる取組を推進する。					
事業概要	各構成市町村で開催されるイベントに相互に参加し、連携してイベントの周知をすることにより、より広域的に集客をし、イベントの啓発効果を上げる。 また、各イベントの取組事例などを参考にすることにより、今後のイベント事業を効果的に実施する。					
事業効果	他市町村のイベントに参加することにより、イベント内容の充実・向上を図り、環境啓発の効果を高めることができる。 また、周知範囲を広げることができ、集客効果が期待できる。					
重要業績評価指標 ( K P I )	指 標	現 状 値 (調査時点)		目 標 値 (達成年度)		
	環境啓発イベントの開催回数	4回 (2016(平成28)年度)		6回 (2021(平成33)年度)		
事業スケジュール	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	相互参加に向けての調整	→				
	イベントへの相互参加		→	→	→	→
	各イベントの広報	→	→	→	→	→
	環境活動等の情報発信	→	→	→	→	→
概算事業費 ( 千 円 )	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合 計
	-	200	200	200	200	800
役割分担及び費用負担の考え方	(補助事業等の名称, 補助率等)					
	水戸市	環境啓発イベントへの参加を呼びかけるなど、相互参加を実施するに当たり、中心的な役割を担う。また、事業に必要な費用が生じたときは、応分の負担をする。				
	近隣市町村	圏域内で開催される環境啓発イベントへ参加する。また、事業に必要な費用が生じたときは、応分の負担をする。				